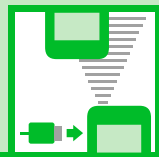


# 通信



赤外線通信 .....	13-2
赤外線通信について .....	13-2
赤外線通信を利用する .....	13-3
Bluetooth® .....	13-5
Bluetooth®について .....	13-5
Bluetooth®を利用する .....	13-6
パソコン接続 .....	13-9
USBドライバーについて .....	13-9
データ転送 .....	13-9
USBモードを設定する .....	13-9
メモ리카ードのデータを パソコンで操作する .....	13-10
データ通信について .....	13-10
便利な機能 .....	13-11
Bluetooth®に関する機能 .....	13-11

# 13



## 赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

転送できるデータは以下のとおりです。

- ・静止画（画像）
- ・メロディ
- ・動画
- ・マイ絵文字
- ・ミュージック
- ・電子ブック
- ・ウィジェットコンテンツ
- ・電話帳、オーナー情報
- ・スケジュール
- ・To Doリスト
- ・受信メール、送信メール
- ・保存メール
- ・テキストメモ
- ・定型文
- ・ユーザ辞書
- ・ブックマーク（Yahoo!ケータイ、PCサイトブラウザ）

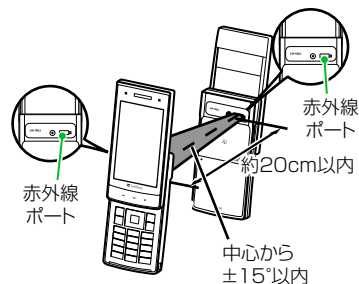
### 注意

- ・静止画（画像）、メロディ、動画、マイ絵文字、ミュージックは全送信できません。

## データを転送するときの注意

- 相手側の機器の状態によっては、データを転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコレメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- データ転送中は圏外となり、音声電話やTVコール、インターネット、S!メールなどは利用できません。また、データ転送終了後、しばらく圏外の状態が続く場合があります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。
- メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。
- 静止画を全受信すると、電話帳に登録された静止画もすべて削除されます。

- 赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。



- 通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。



## 認証パスワードについて

データをまとめて転送するときは、送信側と受信側の機器を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

## 赤外線通信を利用する

### データを1件送信する

送信したいデータの一覧画面／詳細画面から1件送信を行います。

- 1 各種データの一覧画面で目的のデータを選択／各種データの詳細画面 → → 「赤外線送信」 →

■JPEG形式の画像データの場合  
各種データの一覧画面 →   
高速で赤外線通信を行うことができます。

- 2 相手側の機器を受信状態にする

- 3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける → 「YES」 →

データの送信がはじまります。  
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■送信を中止する場合  
→

### 補足

・画像データの高速赤外線通信では、相手側の機器が正常に受信できなかった場合でも、送信側では正常に終了します。

### データを1件受信する

- 1 → 「ツール」 → → 「赤外線受信」 → → 「受信」 →

- 2 赤外線ポートを相手側の機器に向ける → 相手側の機器がデータを送信

データの受信がはじまります。

■受信を中止する場合  
→

- 3 受信が終了したら「YES」 →

受信したデータが登録されます。  
受信後約30秒間操作しない場合は、受信したデータが破棄されます。

### データをまとめて送信する

送信したいデータの一覧画面／詳細画面から全件送信を行います。

- 1 各種データの一覧画面／詳細画面 → → 「赤外線全送信」 →

- 2 端末暗証番号を入力 → → 認証パスワードを入力

- 3 相手側の機器を受信状態にする

- 4 赤外線ポートを相手側の機器に向ける → 「YES」 →

データの全送信がはじまります。  
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■全送信を中止する場合  
→



## データをまとめて受信する

1 ⇒ 「ツール」 ⇒ ⇒ 「赤外線受信」 ⇒ ⇒ 「全受信」 ⇒

2 端末暗証番号を入力 ⇒ ⇒ 認証パスワードを入力

3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける ⇒ 「YES」 ⇒

相手側の機器がデータを送信すると、データの全受信がはじまります。

4 上書き確認画面が表示されたら「YES」 ⇒

データの全受信がはじまります。  
受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

■全受信を中止する場合



## 注意

- データを全受信すると、受信したデータにより本機に登録されていたデータは上書きされます。メールを全受信すると保護メール、電話帳を全受信すると電話帳のシークレットデータ、スケジュールを全受信するとスケジュールのシークレットデータも含めすべてのデータが削除され上書きされます。
- データを受信中に最大登録・保存件数に達した場合は、その時点で受信は中止されます。

## もっと使いこなそう

## 設定

## 電話帳に関する設定

- 赤外線通信で電話帳の画像を転送しないようにする

(▶ P.14-16)



## Bluetooth® について

Bluetooth®とは、Bluetooth®対応機器（ワイヤレスヘッドセット、ハンズフリー機器、オーディオ機器など）をワイヤレスで接続し、データを送受信するための通信方式です。

本機のBluetooth®の仕様は以下のとおりです。

通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver.2.0+EDR準拠
対応プロファイル	HSP: Headset Profile (ヘッドセット通信) HFP: Hands-Free Profile (ハンズフリー通話) A2DP: Advanced Audio Distribution Profile (ステレオ音声、高音質オーディオ通信) AVRCP Audio/Video Remote Control Profile (AV機器のリモコン機能)

## Bluetooth® 利用時のご注意

- 本機はすべての Bluetooth® 機器との接続／動作を保証するものではありません。
- 接続する Bluetooth® 機器は、Bluetooth® SIG の定める Bluetooth® 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 相手機器が Bluetooth® 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、操作方法や表示、動作などが異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。
- Bluetooth® 機器が使用する電波帯 (2.4GHz) は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が遮断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により雑音が入ることがあります。
- 著作権保護規格「SCMS-T」に非対応の Bluetooth® 機器では、テレビの音声を聴くことはできません。

## ● 本機の Bluetooth® 通信サービス

サービス	内容
ヘッドセットサービス	Bluetooth® 対応のワイヤレスヘッドセットと接続すると、ワイヤレス通話ができます。
ハンズフリーサービス	Bluetooth® 対応のカーナビなどと接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを使ってハンズフリーで通話ができます。
オーディオサービス	Bluetooth® 対応のワイヤレスヘッドホンやオーディオ機器と接続すると、ワイヤレスで音楽やテレビなどの音声を楽しめます。

### 注意

- ワイヤレスヘッドセット、ハンズフリー対応機器と接続時に、着信音送出設定を「送らない」に設定し、イヤホン切替設定が「イヤホン＋スピーカー」の場合は、本体から着信音が鳴動します。



## Bluetooth® を利用する

### Bluetooth® 機器を検索して登録する

Bluetooth® 機器を検索して登録します。

- ① **MENU** ⇒ 「ツール」 ⇒ **Bluetooth** ⇒ **Bluetooth**



Bluetoothメニュー画面

- ② 「新規機器登録」 ⇒ **Bluetooth**

Bluetooth® 機器の検索がはじまります。

検索が終了すると、検索に回答したBluetooth®機器が登録機器リスト画面に表示されます。

- ③ 登録したい機器を選択 ⇒ **Bluetooth** ⇒ 「YES」 ⇒ **Bluetooth** パスキーを入力 ⇒ **Bluetooth**

送信側／受信側で同じBluetooth®パスキー（4～16桁）を入力します。

受信側は、送信側が入力したあと30秒以内に同じBluetooth®パスキーを入力してください。

相手がハンズフリー機器などのときは、ハンズフリー機器側で決められているBluetooth®パスキーを入力してください。

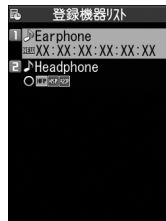
#### 補足

- Bluetooth® 機器が登録されていないときは、Bluetooth®メニュー画面で「登録機器リスト」を選択しても検索して登録できません。
- 登録した機器は、次回接続からBluetooth®パスキーの入力が不要になります。

## Bluetooth® 機器と接続する

登録したBluetooth®機器と接続します。

- ① 【Bluetoothメニュー画面】で「登録機器リスト」 ⇒ **Bluetooth**



登録機器リスト画面

- 新たにBluetooth®対応機器を検索する場合  
⇒ **Bluetooth**

- ② 目的の機器を選択 ⇒ **Bluetooth**

Bluetooth®機器との接続が開始されます。



### 3 サービスを選択 ⇨

Bluetooth® 機器と接続されると「3」が点滅します。

複数のサービスで接続できる機器のときは、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。

■接続中のサービスを停止する場合  
⇨ [ ] ⇨ [YES] ⇨ [ ]

### 登録機器リスト画面の見かた

登録されているBluetooth® 機器の種別や対応サービスなどがアイコンで表示されます。



登録機器リスト画面

①	機種種別※1 : パソコン : 電話 : AV機器 : その他の機器
②	機器名称 未登録の機器はBluetooth® アドレスが表示されます。
③	登録状態 : 登録済み : 未登録 (新規検出)
④	対応サービス※2 : ヘッドセットサービス : ハンズフリーサービス : オーディオサービス : リモコンサービス

※1 : 保護されている機器には鍵マークが  
ついたアイコンが表示されます。

※2 : 対応サービスの状態を以下のように表示します。

表示例	文字	背景	枠	状態
	灰色	—	—	接続履歴なし
	白色	—	灰色	接続履歴あり
	白色	—	白色	接続待機中
	黒色	緑色	白色	接続中

### Bluetooth® 機能を使って通話する

ヘッドセットサービスや、ハンズフリーサービスでBluetooth® 機器と接続して、ワイヤレスで通話します。

1 目的の Bluetooth® 機器と接続する

2 Bluetooth® 機器で電話をかける／受ける

■Bluetooth® 機器と本機で通話を切り替える場合

⇨ [ ] (長押し)

[ ] を長押し (1秒以上) するたびに通話が切り替わります。



## Bluetooth®機能を使って音楽や音声などを再生する

オーディオサービスでBluetooth®機器と接続して、ミュージックプレーヤーの音楽やテレビの音声などを再生します。

### ① 目的の Bluetooth® 機器と接続する

### ② 音楽やテレビを再生する

#### 補足

- Bluetooth®機器で再生中の音量はBluetooth®機器側で調節できます。
- オーディオ機器とオーディオサービスで一度接続すると、接続履歴として記憶されます。本機のBluetooth®機能を有効(Bluetoothオン)にしている場合、接続履歴があるオーディオ機器は音楽やテレビを再生する際に、自動的にオーディオサービスで接続されます。

## Bluetooth®機能を停止する

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、Bluetooth®機能をOFFにします。

### ① [Bluetoothメニュー画面]で「Bluetoothオフ」⇒⇒「YES」⇒

- Bluetooth®機能を有効にする場合  
⇒「Bluetoothオン」⇒

## Bluetooth®機器を接続待機にする

登録しているすべてのBluetooth®機能の接続待機状態を設定します。

### ① [Bluetoothメニュー画面]で「接続待機」⇒⇒「全待機」⇒

- すべての接続待機を解除する場合  
⇒「全解除」⇒
- サービスごとに設定する場合  
⇒「個別設定」⇒⇒目的のサービスを選択⇒  
チェックボックスにチェックをつけたサービスが接続待機になります。

## もっと使いこなそう

### 便利な機能

Bluetooth®に関する機能

- 登録機器を保護する
- 登録機器の名称を変更する
- 登録機器を削除する
- 登録機器の情報を表示する

(▶ P.13-11)

### 設定

Bluetooth®に関する設定

- Bluetooth®機器を検索する時間を設定する
- ヘッドセットやハンズフリー機器に音声電話/TVコールの着信音を送信するかどうかを設定する
- 外部機器から電話をかけられるかどうかを設定する
- 本機のBluetooth®機能の情報を確認する

(▶ P.14-42)





本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、以下の機能を利用できます。

● USBケーブルはオプション品です。

機能	説明
データ転送※	本機の電話帳やスケジュールおよびTo Doリストのデータをパソコンとやりとりできます (P.13-9)。
USBメモリ	メモリカードをセットした本機をパソコンの外部ドライブとして認識し、メモリカード内のファイルの読み出し／書き込みができます (P.13-10)。

※ あらかじめ、USBドライバーをインストールする必要があります。

## USBドライバーについて

### USBドライバーについて

USBドライバーは、本機とパソコンを接続するために必要なソフトウェアです。まずこのソフトウェアをパソコンにインストールしてください。インストール方法については、以下のサイトを参照してください。

<http://www.n-keitai2.com/guide/download>

## データ転送

ソフトバンクキューティリティーソフトウェアを使うと、USBケーブルでパソコンとケータイを接続して、様々なデータをパソコン上で利用することができます。ソフトバンクキューティリティーソフトについては以下のサイトを参照してください。

<http://www.n-keitai2.com/guide/download/>

※ ソフトバンクキューティリティーソフトを利用するにはUSBドライバーをインストールする必要があります。

※ 電話帳、スケジュール、To Doリストの同期はできません。

## USBモードを設定する

パソコンと本機を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。データ転送ツールを使用する場合や、本機を外部モデムとしてパケット通信を行う場合は、「通信モード」に設定します。パソコンから本機に取り付けられたメモリカードのデータを操作する場合は、「microSDモード」に設定します。

1 ⇒ 「設定」 ⇒ ⇒ 「外部接続」  
⇒ ⇒ 「USBモード設定」 ⇒

2 「通信モード」 / 「microSDモード」 ⇒



### メモ리카ードのデータをパソコンで操作する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、本機に取り付けられたメモ리카ード内のデータをパソコンから操作できます。

- あらかじめ「USBモード設定」を「microSDモード」に設定しておいてください。

#### 1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する

パソコンからメモ리카ード内のデータを操作できるようになります。

#### 2 操作が終わったら本機とパソコンをUSBケーブルから取り外す 各OSの安全に取り外す方法でパソコンからUSBケーブルを取り外してください。

### 注意

- 本機とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- 本機の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。本機の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンから本機へデータをコピー中にUSBケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

### データ通信について

本機をパソコンの外部モデムのように使って、パケット通信を行います。

- パソコンの通信設定などについては、ご契約されたプロバイダの説明書、またはお手持ちのパソコンの取扱説明書を参照してください。
- プロバイダ不要の「アクセスインターネット」でデータ通信をご利用になるときは、アクセスポイントや設定方法、サービス概要などを『サービスガイド 3G』でご確認ください。



### Bluetooth®に関する機能

#### 開始画面はここから

【登録機器リスト画面】.....P.13-6、P.13-7

#### 登録機器を保護する

【登録機器リスト画面】⇒目的の機器を選択⇒⇒「保護設定」⇒

すでに保護されている場合、「保護設定」を選択すると保護が解除されます。

#### 登録機器の名称を変更する

【登録機器リスト画面】⇒目的の機器を選択⇒⇒「機器名称変更」⇒⇒名称を入力⇒

#### 登録機器を削除する

【登録機器リスト画面】⇒目的の機器を選択⇒⇒「登録機器削除」⇒⇒「YES」⇒

#### 登録機器の情報を表示する

【登録機器リスト画面】⇒目的の機器を選択⇒⇒「登録機器情報表示」⇒

